

## 【プレスリリース】

平成 30 年 6 月 26 日

報道関係各位

# 有機 EL スマートフォン「V30+ L-01K」 6 月 26 日 (火) のソフトウェアアップデートで LG 独自の人工知能技術「ThinQ AI」を搭載

LGエレクトロニクス・ジャパン株式会社

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社(代表取締役社長: 李 仁奎(イ・インギユ) 本社: 東京都中央区)は、株式会社 NTTドコモ(代表取締役社長: 吉澤 和弘 本社: 東京都千代田区)、より発売された「V30+ L-01K」において、本日、2018 年 6 月 26 日 (火)より開始するソフトウェアアップデートによって、当社独自の人工知能技術「ThinQ AI」に対応します。

■利用開始日: 2018 年 6 月 26 日 (火)より

■アップデート内容:

今回のソフトウェアアップデートによって、カメラに関する機能が改善されます。中でも、「AI カメラ」と「Q レンズ」には、人工知能技術「ThinQ AI」機能が搭載されます。

また、Google アシスタントと連携することにより、写真撮影の操作指示が音声でできます。LG 独自の音声コマンド機能により、「AI カメラを起動して」や「AI カメラで写真撮って」といった指示を認識します。

### ①AI カメラ (ThinQ AI)

フレーム内の被写体を AI が分析し、「人」、「ペット」、「食べ物」、「日の出」、「夕焼け」、「風景」、「都市」、「花」の計 8 つのカテゴリーの中から適したモードを選択し、撮影します。各モードでは、視野角、色、反射、照明、彩度などを最適化し、被写体の特性を生かして撮影することが可能です。

### ②Q レンズ (ThinQ AI)

「フォト検索」機能では、写真共有サイトから、類似画像を検索することが可能です。「QR コードリーダー」機能では、専用のアプリを別途インストールすることなく、QR コードを読み取ることができます。

### ③ブライトモード

従来のスマートフォンのカメラは、ambient light (環境光、周囲の光)を測定して撮影していましたが、AI 機能のアルゴリズムを使用することで、暗い環境でもより明るく撮影することが可能になります。「Sensor Binning (センサービニング)」機能により、標準カメラでの撮影時に、4 つの画素をひとつに使うことで受光面積が広がり、従来よりも輝度を 2 倍明るくでき、フラッシュがなくても、ノイズが少ない、鮮明な写真を撮影することができます。



LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社

〒104-8301 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー15 階

<http://www.lg.com/jp>

#### ■ソフトウェアの更新方法について

更新方法については、下記ページからご確認ください。

[https://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/product\\_update/](https://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/product_update/)

#### ■「V30+ L-01K」について

2018年1月に発売した、有機ELの高精細ディスプレイを搭載したスマートフォンです。引き締まった「黒」の表現を可能にし、広い明暗差と高いコントラスト比によって臨場感のある映像を表示できるため、写真・動画再生に適しています。また、F値1.6のクリスタルクリアレンズを採用し、高機能カメラで様々なシーンを明るくクリアに撮影することができます。メインカメラとサブカメラには広角レンズを搭載し、ワイドな景色も隅々までキレイに再現。さらに、高級オーディオブランドB&O PLAYが音質をチューニングし、ノイズやゆがみを低減した高性能「32bit Hi-Fi Quad DAC」による本格サウンドが楽しめます。顔認証などによるボタン操作不要のセキュリティロック解除、最新のVR「Daydream」にも対応した、こだわりの製品です。



#### ■「ThinQ AI」について

「ThinQ AI」は、当社独自で開発している人工知能技術です。日本においては、2018年4月から順次発売中の有機ELテレビシリーズと液晶テレビシリーズに搭載されており、声によるネット検索やテレビの操作が可能となりました。グローバルにおけるホーム&アプライアンス製品では、2018年以降に展開するすべての製品に「ThinQ AI」を搭載するなど、お客様にとってより快適な生活を提供するため、AI技術の向上に努めております。



※本仕様は予告なく変更される場合があります

※本リリースに掲載されている社名、製品名、技術名は各社の商標または登録商標です

※LGエレクトロニクス・ジャパン株式会社は、2008年6月より「LG電子ジャパン株式会社」から

「LGエレクトロニクス・ジャパン株式会社(英文表記:LG Electronics Japan Inc.)」に法人名を変更しています

#### ■LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社概要

社 名: LG Electronics Japan 株式会社 (LG Electronics Japan Inc.)  
本 社: 〒104-8301 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー15 階  
U R L: <http://www.lg.com/jp>  
設 立: 1981 年 1 月  
代 表 者: 代表取締役社長 李 仁奎(イ・インギョ)  
事業内容: LG エレクトロニクス製品の日本向け輸入販売業。現在は 3 事業の営業を展開  
＜ホーム・エンターテインメント＞テレビ、AV 機器、モニター、クラウドモニター、  
広告・商業用パブリックディスプレイ、サイネージディスプレイ等  
＜モバイル・コミュニケーション＞スマートフォン含む携帯電話、タブレット端末、  
モバイルアクセサリ等  
＜ホーム・アプライアンス&エア・ソリューション＞ロボット掃除機、寝具用掃除機等  
太陽光発電モジュール等

#### ■LG エレクトロニクスについて

LG エレクトロニクスは、モバイル関連製品、家電製品などコンシューマ・エレクトロニクスのグローバルリーダーおよびイノベーターとして、世界 100 以上の事業拠点に約 74,000 人の従業員を擁しています。2016 年の世界市場の売上は 479 億ドルで、「ホーム・エンターテインメント」、「モバイル・コミュニケーションズ」、「ホーム・アプライアンス&エア・ソリューション」、「ビークル・コンポーネンツ」の 4 事業からなり、テレビ、携帯端末、エアコン、洗濯機、冷蔵庫を製造する世界有数の総合家電メーカーです。また、LG エレクトロニクスは、「2016 エネルギースター・アワード」において「パートナー・オブ・ザ・イヤー」賞を受賞しています。詳しくは、[www.LG.com](http://www.LG.com) をご覧ください。

#### 報道関係者様のお問い合わせ先

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社  
広報担当: 阿部/金 東建(キム・ドンゴン)  
Email: [pr.jp@lge.com](mailto:pr.jp@lge.com)  
TEL: 03-5299-4603(直通) FAX: 03-5299-4699